

豊中ロータリークラブ 本年度のクラブ運営方針と行動計画プログラム

会長 眞下 節

2024-25年度の豊中ロータリークラブ(RC)会長を務めさせていただくことになりました眞下 節です。2012年5月1日にクラブに入会させていただきましたのでクラブ歴12年ということになりますが、まだまだ未熟ものですので会員の皆さまの忌憚ないご意見とおしかりを頂きながら1年間を務めてまいりたいと思っております。

本年度のクラブ行動計画プログラムを決めるにあたってですが、重要な2つの視点;1つは国際ロータリー(RI)会長の掲げるテーマとRIのグローバルな中長期計画、もう一つは各クラブ独自の行動計画プログラムがあるかと思えます。日常的な奉仕活動がクラブの原点であるので、RIの方針とは一線を画してクラブ独自の活動を優先すべきという意見があるようですが、RIのロゴを掲げる以上はRI会長のテーマやRI中長期計画の方向を尊重しつつ当クラブの行動計画プログラムを決定していくべきではないかと考えます。

2024-25年度RI会長ステファニー A アーチックが掲げたテーマは、「ロータリーのマジック」です。RI会長は各クラブがマジックを生み出すような行動計画プログラムを掲げることを期待しています。そして、RI行動計画の4つの優先項目は、1. より大きなインパクトをもたらす、2. 参加者の基盤を広げる、3. 参加者の積極的なかかわりを促す、4. 適応力を高める、です。国や地域によってロータリーの仕様は異なりますが、各クラブがよく考えて行動計画プログラムを打ち立て、地域社会の人々にとって「Irresistible:あらがえない」ような魅力にみちた存在になってほしいと彼女は考えています。そして、彼女はRIだけでなく各クラブの行動計画の継続性についても述べています。会長が交代したからといって成功したプログラムを止めるべきではなく、さらに発展させるようにすべきと言っています。よい例がRIのポリオ根絶活動ですが、各クラブにとっても継続発展させるにふさわしい行動計画プログラムがあるはずです。

さらに、2660地区においても、2024-25年度地区ガバナー大橋秀典氏は、地区ビジョンとして「DEI;多様性、公平さ、インクルージョン」の実現、「魅力ある、元気ある、個性ある」クラブの実現、地域社会でよい変化を生み出すこと、および若きリーダーの育成を目指すこと、を掲げています。そして、RI行動計画の4つの優先項目を地区の中期3か年目標として掲げて、各クラブが少しでも多くの目標を活動計画プログラムに取り入れるように促しています。

さて、本年度の豊中RCのクラブ運営方針と行動計画プログラムについて具体的に述べていきたいと思えます。昨年度に打ち出された宮田前会長の運営方針と行動計画プログラムは全てが余すところなく記述されており、行動計画プログラムの継続発展の意味からも本年度もできるだけ継続していきたいと考えています。

1. R財団への寄付:ポリオの根絶を目指すRIおよび第2660地区のビジョン・目標に賛同し、R財団寄付目標を達成します。地域社会や国際社会において奉仕活動で貢献できるように地区補助金やグローバル補助金の獲得を目指します。

2. クラブ奉仕：会員間の親睦を深める活動を例年通り行います。例会は原則として月3回です。ガバナー公式訪問の例会は豊中南 RC との合同例会となり、隔年で担当する予定で本年度は豊中 RC が世話役です。また、ガバナー補佐訪問日は例会後にクラブ協議会を行います。さらに、春の家族会・年末家族会・新年互礼会、創立記念日例会、秋と春のゴルフ懇親会を開催します。例会以外にも「トーク in さくら」や「新入会員歓迎会」などを開催し、会員同士の親睦を深めクラブの活動について熱い議論をしたいと思えます。

3. 広報活動・会員増強：昨年度にホームページが更新されました。豊中 RC の奉仕活動を体系的に紹介します。Instagram で画像や動画を豊中 RC 内外に発信し、Line では会員間で簡単に気軽な連絡を随時行うことも継続します。また、会員増強については待ったなしの状況ですので、クラブ幹部が率先して地道に努力していきたいと考えます。

4. 職業奉仕：まず、会員自身が行う職場での日ごろの職業奉仕が最も重要ではないかと考えます。今年度は、職場見学会を春の家族会を兼ねて行います。

5. 社会奉仕：例年通り、豊中市美術展、豊中祭、豊中市環境展などに協賛します。地区補助金への応募は、奨学生への奨学金授与と社会奉仕事業（昨年度は子ども食堂支援）を交互に行ってきました。今年度は、豊中市の障害者施設への支援での地区補助金申請を申請中です。

6. 国際奉仕：第 3550 地区シーロム RC との GG で、タイの南部の地方都市スラタニにある地域病院へ医療機器（人口呼吸器、心電図測定装置等）を寄贈しました。そして会員により、この GG の現地視察を7月に行う予定です。初めての試みとして、今年度の GG は、共同提唱クラブとして大阪中之島 RC にご参加いただき合同での GG となり、タイの第 3550 地区シーロム RC との GG を開始いたします。（GG2459182）

7. 青少年奉仕：2024年9月14日開催の秋の RYLA セミナーにも参加します。さらに、出前授業や教育フォーラム開催についても具体的に進めていきます。

8. 豊中 RC 奨学生：これは豊中 RC の看板となる奉仕活動です。大阪大学豊中キャンパスの留学生への支援を続け、国際交流を深めます。豊中 RC 奨学生については、地域性を考慮して大阪大学豊中キャンパスの大学院生とすることで専門領域を問わないことにします。

9. 米山奨学生：米山記念奨学会を支援します（会員一人当たり寄付目標3万円です）。現在、米山奨学生を1名受け入れています。

10. クラブ会計の明確化：宮田前会長のご尽力によって、クラブの一般会計と奉仕会計についてはエクセル仕様となり、年間を通して各委員会の会計収支を会員が俯瞰的に見通すことができます。そのため、年度初めの予算決定、年度末決算が容易に行え、全会員が随時収支状況をチェックできるようになり、活動資金の有無を検討できます。

11. 地区大会（2024年11月29、30日、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル）に参加します。

12. クラブ合同の企画：昨年度は豊中 RC ・大阪中之島 RC 合同の企画として、朝日カルチャーセンター連携シンポジウムが開催されました。本年度もガバナー補佐の主導で、この

ような RC 合同企画や豊中地区三 RC の合同例会が企画されています。

13. 2025 年 4 月 13 日に大阪・関西万博が開催されます。開催前日の 4 月 12 日に大阪国際会議場において開幕祭が開催され、5 月 30 日にはホテルグランヴィア大阪で IM 第 1 組のロータリー EXPO フェスタが開催されます。積極的な参加が望まれます。